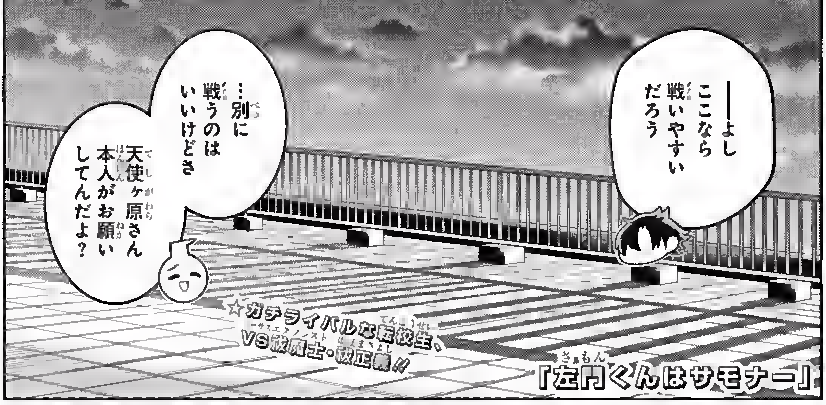

――よし
ここなら
戦いやすい
だろう
…別に
戦うのは
いいけどさ
天使ヶ原さん
本人が
お願い
してんだよ？
☆ガチライバルな幼馴生、
VS祓魔士・救正義!!
「左円」くんはサモナー

外して
くれても
いいじゃない
悪魔を弾く
あのお札
拒否
する
彼女は悪魔に
憑かれた恐怖で
正常な判断力を
失っている
ﾊｯ…

そもそも僕は
祓魔士で君も
今や召喚術士
ぶつかり
合うのは
必定だ
…加えて
個人的な
因縁もある

覚悟を決めたまえ!!
ボッ!!!
これは避けられない勝負フォッ

――フゥ～…
避けられない勝負ねぇ…
シュー…

――全く同感だなァ～!?
左門くんはサモナー
第26話 左門くんは過去を語らない
沼駿
エッヘン
悪役の中でもゲス中のゲスしか用いない手法を平然とコイツ…!!
せっかく新品ちょうとカッコよかったのにコイツマジかぁ…

おい越えちゃいけないライン考えろカス虫!!
だってコイツ「召喚術士は卑怯で狡猾」とか言ってたしぃー
そいつを体現してやっただけだしぃー
ニュー…
なに組に持ってんだ
一つ虚偽を用いたことを告白しておく

ズン
この格好
周囲には転校以前の制服だと言ってあるがそれは偽りだ
その実態は…

四国八十八ヶ所所謂お遍路を三周することで魔物への抵抗力を極限まで高めた対魔装甲だ!!
生半可な悪魔の攻撃は通しはしない!!
総走行距離
約4000km
掃除機か何かの耐久テスト?
天

ボ
ボ
更に…

聖別の
為された
銀繊維を
用いた手袋
聖水に浸した後
大相撲で土俵を
清めるものと
同様の粗塩に
一晩漬け込んだ
聖拳だ
漬け物
みたいだな
…って
ツッコミたい
けど我慢しよう
真面目な場面だ

漬け物
みたいだな
我慢しろ
このバカ!!
天

パンッ
全ては君を
倒す為の
武装だ左門
…どうも
分からないね

君にそこまで
目の敵にされる
覚えないんだけど
君が覚えが
なくとも
僕が決して
忘れない
とぼけたことを
言い続けるなら
教えてやる
僕はかつて
君と共に
学んだ
同門の士

君が召喚術に
走って捨てた
祓魔士の名家…
左門の家の
門下生だ!!

!?
左門くんの
実家が…
祓魔士の
名家…!?
…もちろん
実家の家業
くらいは
覚えてるよ
確かに
お弟子さんは
いくらか居たと
思うけど

君みたいなの居たっけ…？
見覚えない…
えぇ…
昔からそういうヤツだ君は!!
人を人とも思わない冷血漢め…
そうだ!!君は祓魔士の道から外れてからも悪魔で門下生を度々攻撃した!!

未だに悪夢に見る光景だ…
君は泣き叫ぶ僕を悪霊で狙い撃ちにしながらこう言った
「顔面に当たったら百点だぞぉ～」
昔の左門くん悪ッ!!

それを全て忘れたと言うのか
うぅ～ん…
――ごめんぜ～んぜん覚えてない
完全に子供が蝿の行列いじる感覚だったからさ
顔とか覚えないでしょ蝿の
最悪だ㊎こいつのフォロー
HA HA HA HA
いや本当に申し訳ﾆ

今も尚悪ッ!!
ド
ドドド
…なんて言うと思ったかアホが!!

わぁ
それは僕の知っている動きだ

今言ったはずだな
僕は召喚術士の悪魔に度々攻撃されてきた

君の手の内を
誰よりも
知っていると
いうことだ

ベヒモス!!
ブーシュヤ…

——知っている悪魔だ

こいつらは
能力の効果
範囲が狭い

一つ所に
止まらず
すばやく
叩くべし

…どうせ
忘れている
だろうから
教えてやろう

以前僕が
精神修養として
滝に打たれていた
時のことだ

こいつらの
攻撃を食らって
普通に
死にかけた

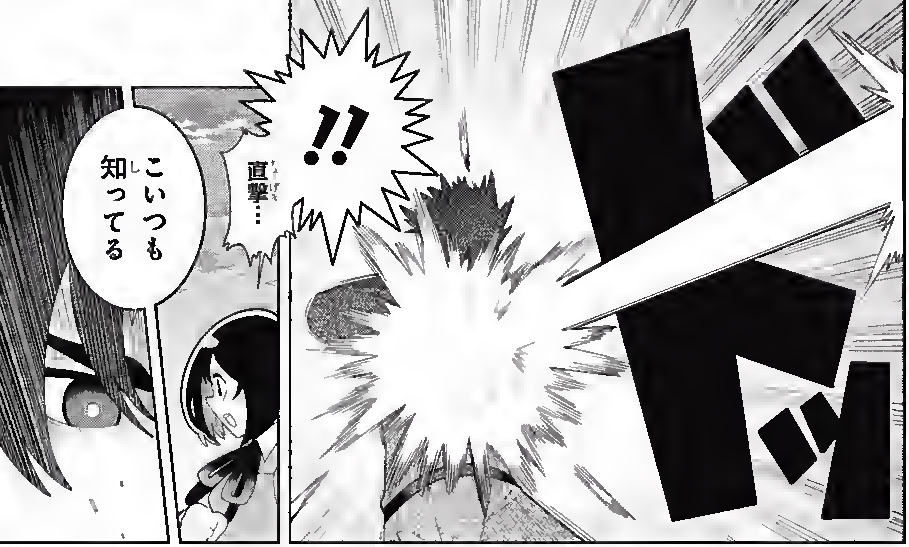
ゴボボボ

二度と
同じ轍は
踏まん

不幸話の
引き出し
凄いな
この人!!

うん
覚えて
ないし

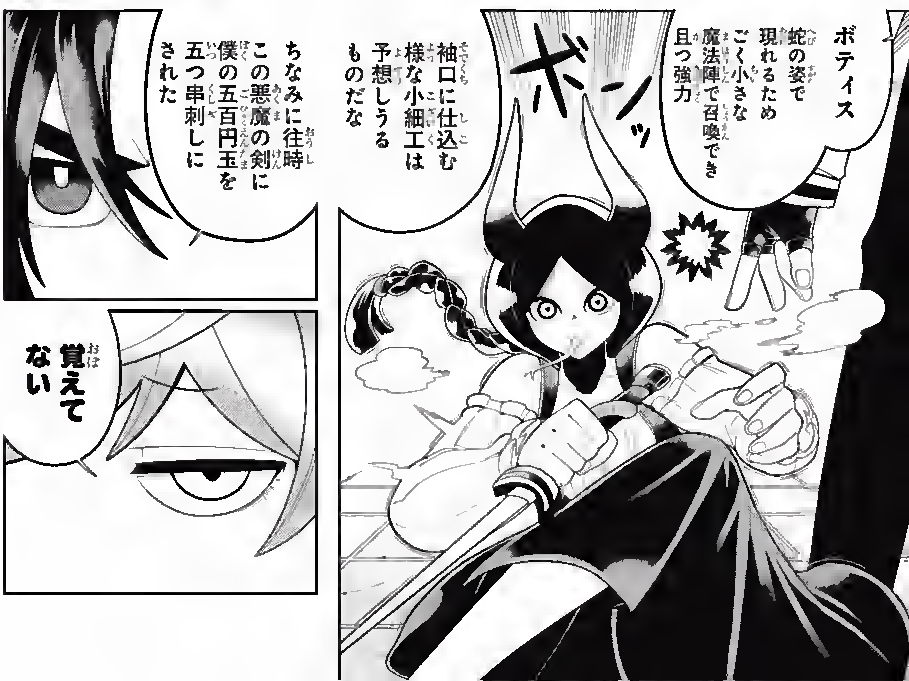
食らえ


!!
直撃…
こいつも
知ってる

隕石を駆る
魔女パリカー
かって僕の
学習机を
大気圏まで
吹き飛ばした
悪魔がコイツだ
やっぱり
あった
不幸話!!

さあ
弾切れか
召喚術士
接近戦は
不得手
だろう?
——さあ
どうかな
シャッ

ガッ
グゲ…
この動きと剣も知っている


ボディス蛇の姿で現れるためごく小さな魔法陣で召喚でき且つ強力
ボンッ
袖口に仕込む様な小細工は予想しうるものだな
ちなみに往時この悪魔の剣に僕の五百円玉を五つ串刺しにされた
覚えてない

バキッ!!
小中学生の二千五百円の重さを知れ外道!!
しこっ
たたた…
は祓くん凄い強いよ左門くん!?平気なの…
…? 何やってんの!?
カリカリカリ

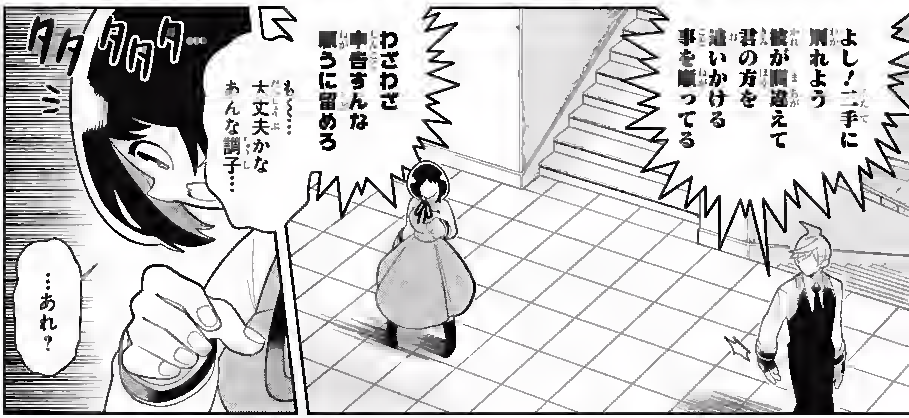
こうやってカリカリしてたら外れないかなと思ってこのお札…
もうダルくなってきた彼の相手…
向き合え現実と!!
カリカリカリ…

とうとう気持ちも折れたか左門
だがそれも悪魔祓いの専門家に敵すれば当然の帰結
ザッ…

祓魔士が召喚術士に敗れることは決してない
せいぜい必死で逃げるくらいが君に残った選択肢だ
ハーハーハー!!
……

じゃあそうする

あとは
お願いね
ボティス～
ほんとに
逃げるの!?
いいの!?


よし！二手に
別れよう
彼が間違えて
君の方を
追いかける
事を願ってる
わざわざ
申告すんな
願うに留めろ
タタタタ…
もぐぐ…
大丈夫かな
あんな調子…
…あれ？

…さて校外に
一目散と見せ
かけて廊下を
ぐるっと一回り
スタ
スタ…
ここまで
来れば
大丈…
ドガッ
うわっ
——安心して
いるところに
済まないが

見失って魔法陣を
書く猶予を与える
ようなヘマはしない
対召喚術士の
鉄則として
まず頭に叩き
込んだことだ
行き止まりだ
もう逃げ場は
ない
じゃあ
逃げるのは
やめようかな
ッ
ググ…
強がるな
頼みの悪魔は
立つのが
やっとだぞ
ああ
立つのが
やっとさ
理由を
教えようか
何？
シャコッ

知らない動きだろ？
ヤ
ギッ!!
!!
ビッ

勉強不足だね祓くん

ぐ…

召喚術士は卑怯で狡猾なんだろ

ス…

ガチャッ

祓魔士の力を利用された場合も想定しな

3F隔離病棟

……!!

カッカッ

さっき彼女にここに隠れるように指示を書いといたんだ

その時間を稼ぐために大回りして君を誘導した

悪魔を弾き飛ばす砲台の前までな

隠

弾

もー
左門くん…
目の前まで
来た時は
ヒヤヒヤ
したよ…

大貴族だな
ネビロス様の
相手じゃない
さぁ彼女の
札を外せ

……

――言われ
なくとも
外して
やるとも

ヒラ

…随分と
アッサリ
だね 左

君たちの
ペテンに
気付いた
までだ

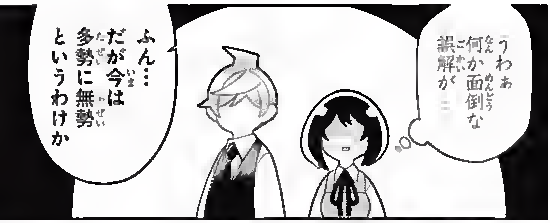
悪魔を
憑けられて
いながらその
親密さは妙だと
思っていた

そういう
ことだったか

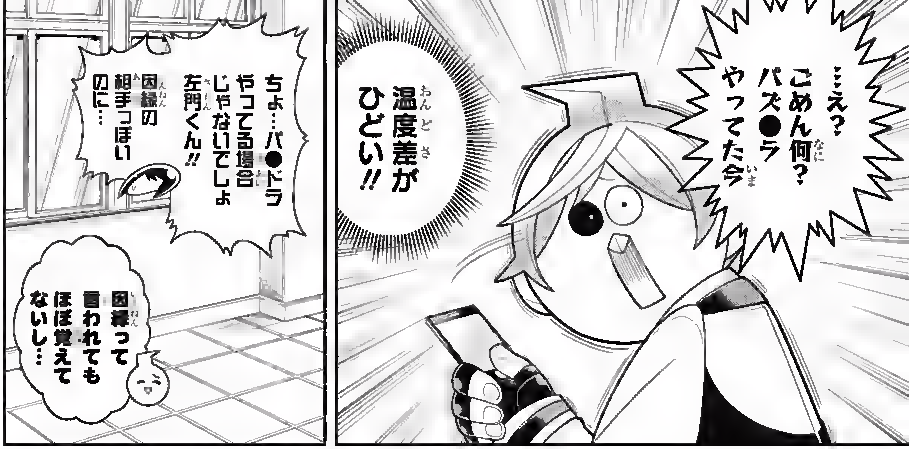
?

その女子も
左門の手先…
悪魔に
魅入られた
女だったとは!!
なに
言ってんだ
こいつ?

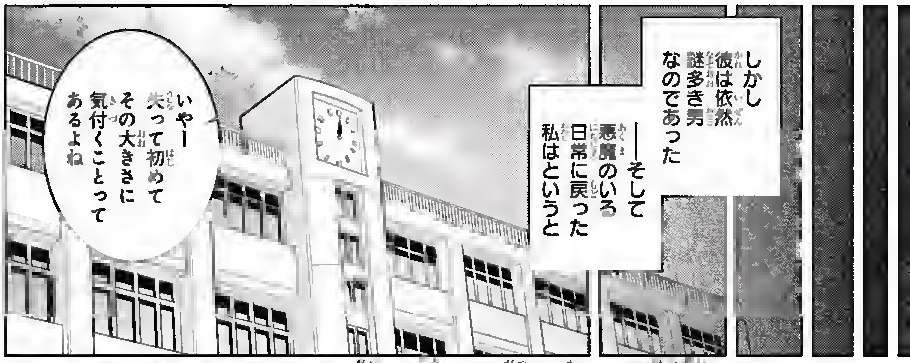
いや手先
とかじゃなく
ただの友達
天
とぼけるな!!
傍観者を装って
勝負に介入する
とは不埒な奴!!


うわぁ
何か面倒な
誤解が
ふん…
だが今は
多勢に無勢
というわけか

バッ!!
いずれ
必ず再戦を
申し込もう
首を洗って
待っていろ
左門


……え？
ごめん何？
パズ●ラやってた今
温度差がひどい!!
ちょ…パ●ドラやってる場合じゃないでしょ左門くん!!
因縁の相手っぽいのに…
因縁って言われてもほぼ覚えてないし…

どーでもいいよ昔のことなんて
本人はそう言ったけど正直私は左門くんの過去が気になった
でもあの様子じゃ祓くんに話を聞くのも無理そうだな
今回少しばかり明らかになった左門くんの過去


しかし彼は依然謎多き男なのであった
――そして悪魔のいろ日常に戻った私はというと
いやー失って初めてその大きさに気付くことってあるよね

ブーやんも先輩も最近ずっと一緒でそれが当たり前になってたのかな

ここ数日近寄れもしなくなったのは寂しかったよ

まぁ左門くんのおかげでそれも解決したし

それは本当に良かったと思うんだけど

ただね

※喜びのビーム乱射

祓くーん!?

過一くらいでいいからあのお礼貰してくれない

祓くーん!?

祓くーん!?

失ったお札の大きさに気付く今日このごろである

☆笑ってから気付く女、それがてっしー。

第26話おわり …次号、ついに公開 てっしーの家庭の事情